

さざんくろす

June 1st, 2022 Vol.78



消化器内科

奴田 絢也

紀南病院消化器内科奴田絢也です。

今回はこのような機会を頂きましたので、まずは簡単に自己紹介させていただきます。

私は和歌山県伊都郡かつらぎ町の出身で、生まれも育ちも和歌山です。趣味はゴルフ、ドライブ、YouTube 鑑賞などです。

2007年和歌山県立医科大学を卒業し、同附属病院での2年間の研修医生活を経て、同附属病院消化器内科に入局致しました。2年間の東京での国内留学を除いて、和歌山県立医科大学附属病院およびその関連病院で研鑽を積んでまいりました。

消化器内科を選択した理由は症状や検査所見から診断をつけ、薬剤等で治療を行うという内科的な側面に加え、内視鏡やエコーによる診断や治療といった手技の面でもやりがいを感じたことがあげられます。また、消化器内科は食道から肛門までの全消化管に加え、肝・胆・膵といった幅広い領域を扱う科であり、これらの臓器の疾患に悩まれる数多くの患者様に貢献できるであろうと考えたことも消化器内科を選択した理由の一つです。

さて、令和3年4月より紀南病院でお世話になっておりますが、赴任した当初は消化器内科がなく、内科の一員としてお世話になり、令和4年1月より消化器内科として独立し、今に至ります。私と森下広睦先生、伊藤大策先生の3名が常勤医として、毎週火曜日には山西内科胃腸科眼科医院の山西浩文先生にお手伝い頂き、内科の先生にもお世話になりながら、日々診療を行っております。

昨今の医療の進歩のスピードは目覚ましく、様々な検査、治療法が開発されており、消化器内科の分野でも同様です。私が専門とする胆膵領域では主に超音波内視鏡を用いた検査や治療の技術の進歩が著しいです。これらの進歩に遅れることなく、日々学習し、診療に取り入れたいと考えております。

一昨年より続く COVID-19 の終息の目途は未だたちませんが、いつか以前のような日々が戻ることを信じております。今後もみなさんとともに紀南地域の患者様のお役にたてるよう、日々研鑽を積みながら、質の高い医療を提供できるように努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

事務局長就任のご挨拶



事務局長

仲 晃司

この度、釣本前事務局長の後任として、令和4年4月1日から事務局長に就任した仲晃司です。平成元年4月に事務職として入職し、医事課を皮切りにさまざまな部署を経験させていただき今日に至っています。新型コロナウイルス感染症で社会全体が大きく揺れ動いているこの時期に事務局長を拝命し、責務の重大さに身の引き締まる思いです。

私が入職した当時は、紀南病院は「社会保険紀南総合病院」、紀南こころの医療センターは「社会保険紀南総合病院新庄別館」、そして紀南看護専門学校は「社会保険紀南看護専門学校」という名称でした。その後、紀南病院の新築移転や中央省庁の再編、紀南病院の買取りなどを経て、現在の名称になった経緯があります。私自身は勤続33年となり、これまでの長きにわたる病院での経験を実感するとともに、その間、多くの諸先輩方にご指導頂き、同僚・後輩・他職種の方々にも支えられ、多くを学ばせていただいたことに心から感謝しております。

さて、今日の本邦の医療を俯瞰しますと、急速に進行する少子高齢化・地域医療崩壊の危機・未だ収束を見ない新型コロナ感染症、など、大変な問題が山積しており、医療界全体としてこれらの問題への迅速な対応が求められています。当院も例外ではなく、公立病院として、また地域の中核病院として、上記の問題から目をそらすことなく対峙し、どのような状況にあっても「良質な医療」を提供し続ける必要があります。微力ではありますが、全力で事務局長としての責務を果たして行く所存です。

事務局長となりますと、病院の経営面で病院長を支えながら携わって行かなければなりません。当院は、多くの自治体病院が赤字経営に苦慮している中で、2020年度決算まで10年連続で黒字決算を継続しており、2021年度決算においても黒字決算となる見込みです。大型医療機器等の更新・購入は今後も継続的に必要ですが、これらは経営に余裕があつてこそ可能となりますので、引き続き健全な病院運営に努めます。また、今年度は2年に一度の診療報酬改定の年でもあります。改定では医師の働き方改革への対応に加え、新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の看護職員への処遇改善への仕組みも創設されています。その他にも病院運営の肝となる案件が多数改定されており、これらを精査して今後の経営に反映させて行きたいと考えています。

最後になりますが、これからも地域の皆様から選ばれて信頼される病院であり続けること、病院全体が明るく職員が働きやすい病院であること、これらのことを目指し、事務局長として病院長を支えながら、精一杯取り組んでいきたいと考えています。職員の皆様には、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

看護部長就任のご挨拶



紀南こころ医療のセンター
看護部長

杉谷 弘美

本年度より紀南こころの医療センター看護部長を拝命しました杉谷弘美です。

わが国の精神科医療の課題は、精神科病床が多いこと、在院期間が長いこと、慢性期の長期入院患者が多いことなどで、平成16年から精神保健医療福祉政策により「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本的な方策が進められています。1年以内の退院の増加、慢性期の長期入院患者の減少(約5~7万人減)など多くの目標が提示されています。

当院の昨年度1年以内に退院した患者さんは167人で新規入院の約86.5%でした。これは全国レベルである90%を下回りました。1年以上の長期入院患者さんは4/1現在60人おられ、在院患者の約75%を占めています。社会的入院も多く、退院調整は困難な状況です。昨年度の病床稼働率は65%で、入院患者数は1日平均約95人で昨年度より減少しています(外来は微増)。看護部としては、病床コントロールによる稼働率アップ、多職種連携し退院調整、地域への移行促進、地域生活継続の支援などに取り組む予定です。そして何よりも安心・安全な看護を提供するべく職員の皆様とともに頑張りたいと思います。今後ともご指導・ご助力のほどよろしく申し上げます。

研修医日記



研修医

山崎 創

この度、研修医日記の当番を申し受けました初期研修医2年目の山崎創です。院内ではたまに「そうちゃん」とも呼ばれますが、「はじめ」と読みますので名前だけでも覚えてもらえると嬉しいです。

紀南病院に来させていただいて1年余りになりますが、初めましての方も多いと思いますので、この場をお借りして簡単に自己紹介させていただこうと思います。僕は阪神淡路大震災があった年に大阪で生まれ、紀の川市で幼少期を過ごした僕は虫捕り少年時代を経て、少林寺拳法やら野球やら卓球やらと運動をしつつ、向陽高校を卒業し、河合塾での浪人を経て、福井大学に入学しました。大学では部活は軟式テニスに入りつつ、趣味で硬式テニスに打ち込むという無意味な二刀流で楽しく6年間を過ごしました。

紀南病院に就職してからは、温泉や釣り、熊野古道巡り、無限ドライブに出かけたりといった田辺ならではの趣味を広げているところです。一緒に釣りや山登りに行ってくれる先輩方が一気に卒業してしまって寂しいところでしたが、やる気と元気に溢れた面白い先輩研修医がたくさん入ってくれたので、今年も楽しくやって行けそうです。あまりにも長い期間、自粛生活が続いていますが、いつかみんなでキャンプにでも行きたいですね！

さて、新年度に入り各科の環境もガラリと変わりましたが、昨年度は内科に始まり、循環器内科、救急科、血液内科、泌尿器科、外科、産婦人科をローテーションさせていただきました。どの科を回っていても、つらい時も楽しい時もありますが、回れば回るほどどの科も魅力的に感じ、何科になろうか迷ってしまいます。迷いはしましたが、結局手を動かす方が好きなので外科系で、特に今のところは泌尿器科を専攻しようかと考えています。時に優しく、時に厳しくご指導下さる指導医の先生方はじめ、おぼつかない手元を支えてくださる看護師さんや周りの方には大変お世話になりました。残り9カ月ほどの研修ですが、引き続きご指導のほどよろしくお願いたします。

臨床研修修了式

令和3年度臨床研修修了式は医科6名、歯科2名の研修医が研修を修了し、無事この日を迎えることができました。

新型コロナウイルス感染症の影響の中3月16日・講堂で授与式を執り行いました。互いに励ましあいながら乗り切った研修医達、今後も同期を大切にそれぞれの道に進んで頑張ってください！初期研修のうちに指導医等から医師としての姿勢や基本的な診療技術を学び、それらを活かして、患者さんに寄り添いながら最高の医療を提供できる医師、歯科医師になる事を期待しています。今後も皆さんのご活躍を期待しています。

研修医の先生方2年間お疲れ様でした！また、どこかでお会いできることを楽しみにしています。

研修医の先生方へ、一人ひとりに修了証が授与されました。

2年目の研修医たちは一人ひとり修了証を受け取った後スピーチタイム！

一人ひとりの思いを言葉にしてくれました。



病院のまど

4月6日(水)に48回生の入学式が行われ、35名(男子6名、女子29名)が新たに入学しました。昨年度の入学試験より社会人枠の試験が行われ、例年よりも社会人の入学が8名と多いです。



入学式終了後には、在校生主催でマイクロソフトチームスを使ってのオンライン会議での新入生オリエンテーションが行われました。入学生は、教員紹介や在校生が知りたかった学校生活の説明を受け、最後にはクイズ大会も行われました。

がんサロン「ふれあい」 開催のお知らせ

6月以降の開催については新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら随時検討し、日程が決まり次第当院HPや掲示板でお知らせ致しますので、確認の上ご参加ください。

編集後記

2022年、令和4年は60年に1度の「壬寅」

2022年は寅年のなかでも、特別な年。60年周期で訪れる「壬寅(みずのえとら)」にあたる年とされています。また、陰陽五行説によると「壬(みずのえ)」と「寅(とら)」の組み合わせは「陽気を育み、春の胎動を助く」と言うことを意味し、すなわち「壬寅」は厳しい寒さを耐えれば命の芽吹く春がやってくるということを表しています。

新型コロナウイルスの影響で、色々と不自由なことの多い毎日を送っている人も多いと思います。いつまで我慢すればいいんだ!!と思うかもしれませんが、今こそ自分磨きに時間を使い、大きな花を咲かせる準備をしたいですね。

N.S 記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

- 和歌山事業所 〒641-0012
和歌山市紀三井寺 855-71
- 紀三井寺事業所 〒641-0014
和歌山市毛見 1111-1
- トライアルフィールド ayumino 〒594-1157
和泉市あゆみ野 4-6-6
- 南大阪支店 〒594-1157
和泉市あゆみ野 4-6-6
- 大阪支店 〒577-0015
東大阪市長田 3-7-11
- 神戸支店 〒653-0042
神戸市長田区二葉町 1-1-22
- 奈良支店 〒632-0018
天理市別所町 81-8 通真ヨシエプラザ
- 紀南支店 〒646-0011
田辺市新庄町 3778-2
- トライアルフィールド阪神 〒555-0041
大阪市西淀川区中島 2-1-27 プロロジスパーク大阪 4 3F
- 新宮営業所 〒647-0052
新宮市橋本 2-5-61
- 東京オフィス 〒102-0074
千代田区九段南 2-2-1 エース九段ビル 7F
- 京都丸太町オフィス 〒606-8395
京都市左京区丸太町通川端東入丸太町 32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



- 本社
〒640-8287 和歌山県和歌山市東海6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223
- 大阪支店
〒599-0012 東大阪市北豊中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3010 FAX. 0725-31-3619
- 新大阪営業所
〒641-0012 和歌山県紀三井寺708番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781
- 田辺営業所
〒646-0011 田辺市新庄町 2744 番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
- 新宮営業所
〒647-0072 新宮市鼻伏 20 番 22 号
TEL. 0735-31-0130 FAX. 0735-31-0133
- 奈良営業所
〒632-0082 天理市虎崎町 5 6 番地の 4
TEL. 0743-04-3607 FAX. 0743-04-4810

SHIP HEALTHCARE GROUP

セイコーメディカル株式会社

New Face さ〜ん

新しく就任の先生方を紹介致します

- ①出身地
- ②趣味・特技
- ③一言アピール
(敬称略)

【医師】



なかにし ゆうすけ
《内科》中西 宥介

- ①田辺市 ②ダイビング・卓球
- ③高校卒業以来10年ぶりに地元に戻ってきました。久しぶりの田辺での生活を楽しまにしております。



てらもと かん
《内科》寺本 寛

- ①三重県紀宝町 ②釣り・サッカー
- ③これまで学んできたことを発揮し、紀南の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。



いとう だいさく
《消化器科》伊藤 大策

- ①和歌山県 ②ドライブ・音楽鑑賞
- ③他科の先生方、メディカルの皆さんと地域の医療に貢献して行きたいと思います。



はた さとし
《循環器科》秦 聡

- ①愛媛県松山市 ②おいしいものを食べる
- ③地域医療へ貢献するため、精一杯診療にあたらせて頂きます。



はやし まこと
《眼科》林 信

- ①岸和田市 ②映画・音楽・野球
- ③得られることはできる限り吸収したいと思います。



やぐら たつや
《眼科》矢倉 達弥

- ①田辺市 ②サウナ
- ③医師として地域に貢献できるように頑張ります。



のぐち ともこ
《産婦人科》野口 智子

- ①大阪府 ②音楽鑑賞
- ③4年ぶりに戻ってきました。宜しく願います。



たにぐち みゆ
《産婦人科》谷口 実佑

- ①和歌山県 ②音楽鑑賞・阿波踊り
- ③和歌山県高野山の出身で、徳島大学卒業です。この度縁があって12年ぶりに和歌山に戻ってこれたことを嬉しく思います。まだまだ未熟ではありますが、紀南地域の産婦人科診療に貢献できるようがんばります。



ひらやま じゅんや
《産婦人科》平山 純也

- ①有田川町 ②車・子供と遊ぶこと
- ③地域医療に貢献できるよう頑張ります。



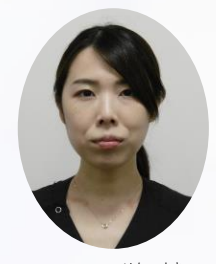
いよ たくろう
《耳鼻咽喉科》伊豫 巧朗

- ①和歌山県 ②釣り・アクアリウム・サックス
- ③週末はどこかの堤防・磯でお会いするかもしれません



ひじや まさよし
《耳鼻咽喉科》泥谷 匡祥

- ①和歌山県 ②筋トレ・温泉
- ③食べなければ筋肉はつかない



はた ゆき
《腎臓内科》秦 薫

- ①滋賀県 ②バン屋巡り・旅行
- ③よろしく願います。

新しく就任の先生方を紹介致します



すずき けい
《小児科》鈴木 景

①大阪 ②バスケットボール
③1年ぶりです。またお世話になります。病棟や外来で懐かしい面々にお会いできることを楽しみにしています。



たかお けんじろう
《歯科口腔外科》高尾 健二郎

①香川県 ②剣道
③人生で初めての本州での生活です。人生経験を増やしていきます。



ふくしま たかし
《精神神経科》福島 嵩士

①有田市 ②余裕があればキャンプ
③生まれも育ちも和歌山です。数年前からキャンプを趣味に始めて改めて和歌山の自然の多さに気付かされました。ゆったりとした空気感で、患者さんのお話をしっかりと受け止めるような診療を心がけようと思います。

【こころの医療センター】



きりむら なおき
《精神神経科》桐村 直樹

①大阪府富田林市 ②野球・将棋
③新しく紀南こころの医療センターで働かせていただきます桐村直樹です。患者さんと共に成長していきたいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。



ひがし じゆんや
《精神神経科》東 隼也

①串本町潮岬 ②釣り・ドライブ
③磯釣りを中心に鮎釣りや溪流もします。いいポイントを教えてください。



ごきつぐ よしひと
《医局》五鬼継 義仁

①和歌山県 ②趣味が特にないので、時間つぶしの『ウィンドウショッピング』
③田辺市出身です。2年間の研修中、公私共充実したものにしたいので様々な人と知り合いたいです。

【研修医】



ありた かずと
《医局》有田 一翔

①広島県広島市 ②ファゴット演奏
③呼んでいただけたらすぐに駆けつけます！



おおぼ ともゆき
《医局》大甫 智之

①和歌山県 ②ソフトテニス・ゲーム
③大きい声で元気の良い所が長所です！体力にも自信があります！



かわばた ひでき
《医局》川端 秀毅

①大阪府 ②旅行
③至らない所は多いと思いますが、できる限りのことをしていこうと思いますので、御指導お願いします。



たかはし ともひろ
《医局》高橋 朋宏

①兵庫県 ②サッカー・テニス・旅行
③車の運転中でも手をたいて笑います。気軽に話かけてください。よろしくお願いいたします。



いしい たいき
《医局》石井 太規

①大阪府堺市 ②野球観戦
③新しい土地で不慣れな事も多いですが、何事にも積極的に取り組ませて頂きたいと思っています。



まつみや しゆうと
《歯科口腔外科》松宮 修人

①滋賀県 ②スポーツ観戦(サッカー・F1 など)
③はやく紀南病院になじめるように頑張ります。